

中央市議会 だより



実り豊かな
生活文化都市

<http://www.city.chuo.yamanashi.jp>

No.33

平成26年6月1日発行



雪にもマケズ!!

6月定例会の予定……P15

2月の大雪による被害にもマケズにがんばる農家の方々

3月定例会で決まったこと……P2
審議結果……P7
市長の行政報告……P8
一般質問……P9
委員会レポート……P10
市民の談話室・編集後記……P16

として編成

衛生費

・ 予防接種事業	6,711万円
・ 母子検診事業	3,170万円
・ 総合健診事業	4,090万円
・ 住宅用太陽光発電助成事業	1,500万円
・ 塵芥し尿処理事業	1億2,919万円
・ 中巨摩広域事務組合負担金事業	2億1,187万円

農林水産業費

・ 土地改良施設等維持管理事業	3,037万円
・ 土地改良施設等基盤整備事業	2,773万円

商工費

・ 観光振興事業	184万円
・ 中央市3大まつり振興事業	2,470万円

土木費

・ 道路橋梁維持事業	3,664万円
・ 河川維持事業	1,290万円
・ 景観計画策定事業	522万円

用語解説

骨格予算とは？

市長選などの首長選を控えた自治体が、最低限必要な経費を盛り込んで編成する予算。例年より予算規模は小さくなるが、選挙後の議会において政策予算を盛り込んで事業化する。

消防費

・ 甲府地区広域行政事務組合負担金事業	3億9,459万円
・ 非常備消防費	2,400万円
・ 消防施設管理事業	867万円

教育費

・ 社会科副読本作成事業	455万円
・ 中学校語学研修事業	724万円
・ ブックプレゼント事業	38万円

平成26年度上水道事業会計予算

項 目	予算額	増減率
収益的支出	2億1,991万円	▲4.2%
資本的支出	6,909万円	▲82.4%

2～3ページの金額は全て1万円未満を四捨五入しています。

平成26年度
当初予算

骨格予算

3月定例会が2月25日から3月12日までの16日間の会期で開催されました。
条例改正3件、平成25年度補正予算8件、平成26年度予算11件、請願1件、
その他2件、意見書1件が提案され、審議されました。

一般会計 総額105億442万円（対前年度比5・1%減）

おもな事業

総務費

・自治振興事業	3,305万円
・行政事務電算化事業	2億2,674万円
・生活バス路線維持事業	1億円

民生費

・臨時福祉給付金支給事業	6,081万円
・子育て世帯臨時特例給付金支給事業	4,376万円
・重度心身障害者医療費助成事業	1億5,904万円
・子ども医療費助成金支給事業	1億2,433万円



新入生へ本のプレゼント（ブックプレゼント事業）

平成26年度特別会計予算

総額66億9,194万円（対前年度比4.3%減）

会計名	予算額	増減率
国民健康保険特別会計	32億9,148万円	4.4%
後期高齢者医療特別会計	2億746万円	5.8%
介護保険特別会計	17億8,826万円	4.1%
地域包括支援センター特別会計	2,715万円	3.9%
簡易水道事業特別会計	1億5,605万円	▲23.1%
下水道事業特別会計	9億1,764万円	▲32.2%
農業集落排水事業特別会計	2億3,613万円	▲11.6%
田富よし原処理センター事業特別会計	5,215万円	▲9.3%
工業用地整備事業特別会計	1,562万円	▲8.3%
合 計	66億9,194万円	▲4.3%

平成25年度

一般会計補正予算 (第5号)

2,246万円を追加

総額117億3,268万円に

・国民健康保険特別会計補正予算(第4号)

総額32億2,720万円
(207万円を減額)

・簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)

総額2億2,902万円
(600万円を減額)

・下水道事業特別会計補正予算(第4号)

総額12億8,840万円
(6,467万円を減額)

・農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)

歳入財源の組み替え

・工業用地整備事業特別会計補正予算(第2号)

総額1,684万円
(24万円を減額)

平成25年度補正予算(追加)

一般会計補正予算(第6号)

雪害緊急対策事業など総額6億4,555万円を追加補正

～おもな補正内容～

歳入

・地方交付税	6,425万円
・災害等廃棄物処理事業費補助金	139万円
・社会資本整備総合交付金	1,540万円
・学校施設環境改善交付金	9,260万円
・雪害緊急対策事業費補助金	1億7,792万円
・農業基盤整備費補助金	1,374万円
・合併特例事業債	2億7,650万円

歳出

・災害等廃棄物処理事業	292万円
・雪害緊急対策事業	2億918万円
・土地改良施設等基盤整備事業	3,240万円
・橋梁長寿命化修繕事業	3,216万円
・田富南小学校施設整備事業	3億9,239万円

特別会計の補正内容

下水道事業特別会計補正予算(第5号)

総額12億5,680万円
(3,160万円を減額)



大雪により倒壊したビニールハウス(藤巻地区)

条例改正

中央市玉穂ふるさとふれあい広場条例の改正 施行期日 平成26年4月1日

行財政改革の一環として、広場管理事務所の職員配置を見直し、人件費の抑制や職員数の削減を図るため、条例を改正しました。

中央市手数料条例の改正 施行期日 平成26年4月1日

都市計画法に基づく開発行為に関する事務の一部が山梨県から移譲されたことおよび消費税法等の一部改正に伴い、消費税率が引き上げられることから、条例を改正しました。

中央市社会教育委員に関する条例の改正 施行期日 平成26年4月1日

地域の自主性および自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の施行による社会教育法の一部改正に伴い、社会教育委員の委嘱の基準に関し、条例を定めました。

路線廃止・変更

道路線廃止

中央市道の道路台帳補修正に伴い、これらに関する市道を廃止しました。

- ・その他路線 114路線（今回は田富地区のみ）

道路線変更

中央市道の道路台帳統合整備事業に伴い、これらに関する市道を変更しました。

- ・1級路線 1路線
- ・その他路線 2路線

報 告

和解および損害賠償額の決定

中央市内において発生した3件の瑕疵による事故について和解し、損害賠償の額を定めるため、専決処分を行いました。



動議提出

請願第1号

特定秘密保護法撤廃を求める意見書の提出を求める請願は、付託先の総務教育常任委員会では、「内容一つ一つをとらえると見解が違うのではないかと思われる」などの意見がありました。継続審査を望む意見もありましたが、採決を求める意見が多数を占めたため、採決を行った結果、不採択とすべきものとなりました。

しかし、3月12日の本会議での委員長報告の後、継続審査すべきとの動議が出され、賛成10、反対5の賛成多数で継続審査としました。

動 議

特定秘密保護法は、本当に秘密にする必要があるのかどうか、チェック体制があやふやで、国民の知る権利がおろそかにされる恐れがあり、憲法で保障されている「国民の権利」「基本的人権」「平和主義」「地方自治」の基本原則にかかわる重要な問題です。市民の関心が高く重要な案件で、十分な議論と審査が必要との立場から、この請願は継続審査とすべきと考えます。

特集

記録的な豪雪による被害を受け 意見書を提出



雪の重みで押し潰されたビニールハウス(成島地区)

2月14日から15日にかけて、観測史上最大を記録するという積雪量114センチの豪雪に見舞われ、住宅、物置、カーポート等の損壊、また、公共施設の損壊等多数の被害が報告されました。

特に市内のビニールハウスなどの農業施設では甚大な被害を受け、産業土木常任委員会では、雪害の状況を確認するため2月21日に現地を視察し、被害にあわれた農家の方々の話を直接伺いました。

これにより議会では、雪害に対する支援と財政措置を講ずることを要望するため、国及び県に対し、意見書を提出しました。

意見書の提出

平成26年2月の記録的豪雪災害に対する迅速な対策支援及び 財政措置を求める意見書

2月25日可決 議会から国・県へ提出

- 提出議員 小池章治
- 賛成議員 小池満男 木下友貴 名執義高 小沢 治
- 要旨

2月14日から15日にかけて県内を襲った観測史上最大の豪雪は、気象情報をはるかに超える積雪をもたらし、市内全域に甚大な影響を及ぼした。

住宅の一部倒壊、物置やカーポート等の損壊、学校、保育園、市営住宅等公共施設の一部損壊等多数の被害が報告され、特に深刻な農業施設の状況では、本市農業の根幹を支える温室栽培施設や畜産施設の多くが壊滅的な被害にさらされた。

倒壊したビニールハウスの撤去だけを例にとっても、相当の経費、人的労力を要し、復旧資材の供給不足も懸念される。さらに被災農家には、今後の農業経営自体や産地としての維持存続を危ぶむ声も出始めている。

これらの対応は、市単独での支援は到底困難であり、国及び県に本市の深刻な状況を認識され、格段、かつ迅速な支援と財政措置を講ずることを強く要望し、意見書を提出する。

■ 提出先

内閣総理大臣 財務大臣 総務大臣 内閣官房長官 農林水産大臣
国土交通大臣 内閣府特命担当大臣(防災対策)
山梨県知事

平成26年3月定例会審議結果

○賛成 ●反対（伊藤公夫議長を除く）

種 別	案件名	議 長	副 議 長	中 央 フ ォ ー ム					市 民 ク ラ ブ		公 明 党		日 本 共 産 党	無 所 属		結 果		
		伊 藤 公 夫	小 沢 治	田 中 一 臣	福 田 清 美	田 中 健 夫	名 執 義 高	河 西 茂	小 池 章 治	山 村 一	井 口 貢	小 池 満 男	設 楽 愛 子	田 中 輝 美	木 下 友 貴		大 沼 芳 樹	保 坂 武
条例 改正	・ 中央市玉穂ふるさとふれあい広場条例中改正の件																	可 決
	・ 中央市手数料条例中改正の件		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
	・ 中央市社会教育委員に関する条例中改正の件																	
平成 25 年度 補正 予算	・ 一般会計補正予算（第5号）																	可 決
	・ 一般会計補正予算（第6号）																	
	・ 国民健康保険特別会計補正予算（第4号）																	
	・ 簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
	・ 下水道事業特別会計補正予算（第4号）																	
	・ 下水道事業特別会計補正予算（第5号）																	
	・ 農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）																	
	・ 工業用地整備事業特別会計補正予算（第2号）																	
平成 26 年度 当初 予算	・ 一般会計予算																	可 決
	・ 国民健康保険特別会計予算																	
	・ 後期高齢者医療特別会計予算																	
	・ 介護保険特別会計予算																	
	・ 地域包括支援センター特別会計予算																	
	・ 簡易水道事業特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
	・ 下水道事業特別会計予算																	
	・ 農業集落排水事業特別会計予算																	
	・ 田富よし原処理センター事業特別会計予算																	
	・ 工業用地整備事業特別会計予算																	
その他	・ 市道路線廃止の件		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	可 決	
	・ 市道路線変更の件																	
意見書	・ 平成26年2月の記録的豪雪災害に対する迅速な 対策支援及び財政措置を求める意見書		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可 決	

斜線部分は辞職により採決には加わっておりません。

市長の

施政方針

3月
定例会

実り豊かな生活文化都市実現を 目指し新しいまちづくりに 取り組んだ4年間でした

中央市長 田中久雄

各施策の進捗状況

環境基本計画・ 後期計画

「快適で健やかに暮らせる生活文化都市」を目指して策定した環境基本計画を、社会経済状況の変化を踏まえて見直し、26年度から30年度までの5年間の方向性を示す「後期計画」の素案を環境審議会でご検討いただきました。

豊富地区の 可燃物処理

青木が原ごみ処理組合からの脱退に伴い、26年度からは、埼玉県処理施設へ搬出し、溶解化処

理を図ります。

保育園関係の 整備状況

食物アレルギー対応用の調理室の工事を玉穂保育園で行っています。26年度からは玉穂保育園に通園していただき、事故の未然防止を図ります。田富第一保育園大規模改修工事は順調に進捗し、8月には予定どおり整備が整います。

地域医療救護体制 整備事業

大規模災害時に軽症患者に対する処置と、中程度から重度の患者が医療機関に収容されるまでの初期救急医療に相当する応急救護をする医療救護所の体制整備をめざし、「救護所設置運営マニュアル」を策定し、中巨摩医師会と連携のもと、救急セットや備蓄倉庫、ライフライン確保のための資機材の整備等を進めています。

リニア中央新幹線関係

山梨県リニア駅周辺整備検討委員会では、周辺地区に導入する機能の整備方針、規模の案が示されました。本市の意見として、住環境の確保を大前提とした整備を要望し、今後も本市の意見が反映されるよう引き続き任務を果たしていきます。中央市リニア活用推進懇話会では「駅周辺整備検討委員会」の報告や、本市の都市計画マスタープランを基に、リニア効果を生かしたまちづくり



食物アレルギー対応に改修された調理室(玉穂保育園)

リニア中央新幹線 環境影響評価準備書 に対する本市の意見

JR東海の準備書に対する本市の意見として、田富北小学校移転に伴う安全対策や騒音・振動・磁界の数値の把握、地下水源の影響に対する専門的見解の提示、日照障害、農作物に対する影響、住民への説明と迅速な対応などを知事あてに要望しました。

実現に向け、取り組んでいきます。

リニア中央新幹線は

環境保全、継続調査を要望

小池 満男 議員

Q

A

小池議員 田富北小学校の移転検討委員会立ち上げは、市独自の、園児・児童の健康影響調査は、駅周辺地区の範囲は、**市長** JR東海に各種調査の継続を要請するとともに検討していく。駅中心が明確になっていない。東西の範囲も示されなかった。**教育長** 工事実施計画の認可後に検討する。

小池議員 税金等の収納率向上対策は。12月の滞納整理強化月間の成果は。

納付約束と成果は。

納付相談窓口の状況は。

市長 全職員が臨戸訪問、電話催告を実施。

市民部長 徴収件数98件、約234万円。

現年度徴収98件、約234万円。約束を取り、後日の納付が51件、約144万円。

時間内の相談が83件、休日・時間外が14件。

小池議員 健康長寿を

目指し、公園の芝生化は。児童生徒の健康管理は。

市長 維持管理等に協力していただける組織や団体があれば、前向きに検討したい。

教育長 検査対象は、給食に携わる栄養士、調理員、配膳運転手の合計37人。児童・生徒への指導、家庭での健康観察をお願いし、シーズン中3回実施する。インフルエンザの蔓延防止に努める。

小池議員 市独自の雪害対策は。

今後の雪害、災害に対する取り組みは。

市長 国・県・農協と連携し、倒壊ハウスの撤去、再建に最大限の支援

を。再建に最大限の支援

Q

A

全国学力・学習状況調査は

指導の改善が目的

木下 友貴 議員

を図っていく。

総務部長 地域防災計画改訂も含め防災対策に力を注ぐ。

【関連質問】

▼名執義高議員

▼田中輝美議員

650円引き下げられた。扶養義務は保護に優先する。要件とは異なる。

木下議員 災害救助法の申請は。

県への支援要請は。

市民への情報提供は。住宅・車庫被害への支援は。

総務部長 孤立や住宅全半壊がなかったため申請は行わなかった。

重機燃料は市として確保していた。重機ボランティアの要望を1件行った。

ホームページや防災無線を活用した。ツイッター等の活用は、今後検討する。

国・県の動向を注視し検討する。

【関連質問】

▼小池満男議員

▼名執義高議員

親族の扶養義務は。

市長 国の「影響が及ばない対応」方針を注視したい。

保健福祉部長 1世帯平均で、8月分は630円、期末一時扶助費は2、

倍率は0・67%と厳しい。連携を深める必要はあるが、本来、国の事務でありハローワーク等での相談が効率的。

木下議員 中央市の生活保護の現状は。

基準額引き下げによる影響と対策は。

雇用・労働の相談窓口の実態は。

市長 12月、本市の有効求職者数は643人、求人数は429人、求人

求人数は429人、求人

Q

太陽光発電設置への補助は

A

27年度以降は検討

設楽 愛子 議員

設楽議員 家庭用太陽光発電設置補助の今年度目標は。今後の申請予測と最終目標は。

市長 今年度は100件を予定した。新年度も100件の予算を計上している。地域新エネルギービジョンでは、550件の導入を計画している。

設楽議員 子宮頸がん・乳がん検診の受診率向上の取り組みは。20歳の受診率向上策は。

保健福祉部長 過去の未受診者に再度クーポンを配付し、国の要綱に基づき、事業を展開する予定。23年、24年度には山梨大学医学部産婦人科と提携し、女性医師による健診も実施した。また、

成人式でパンフレットを配布し、受診を勧奨している。

希望者には応じたい。広報等で周知する。

設楽議員 「臨時福祉給付金」、「子育て世帯臨時特別給付金」申請手続き等の対策は。

市長 関係する部署すべてが応援体制をとり、取り組むよう指示。広報、ホームページ等で周知を図っていく。

【関連質問】 保坂武議員



子宮頸がん・乳がん無料クーポン券

総務教育常任委員会

審査ポイント

障がいのある児童受け入れに伴う専任教員の配置は

▼玉穂ふるさとふれあい広場条例
中改正
管財課

問 玉穂ふるさとふれあい広場管理事務所に職員を配置しない場合、利用者の今後の対応は。

答 使用許可は教育委員会、管理は管財課で行っている。当初から管理棟は一般開放していない。昨年4月より試行的に職員がいないが、トイレも広場内にあり何ら問題は生じていない。

▼平成25年度一般会計補正予算
(第5号)

危機管理室

問 防災諸費の需用費には、自治会の資機材も入っているのか。

答 市の資機材のみとなっている。教育総務課

問 障がいのある児童受け入れに伴う専任教員の配置は。

答 教員は県負担で、基本的に児童8人に1人の配置だが、現状は5人に1人を配置。加配が必要だと市単独の配置となる。また、外国籍児童生徒が多いことから、通

訳3人も市単配置。児童の受け入れには、児童にあった教材の準備、施設の改修などが必要となる。

問 普通の児童と同じような対応を望む。

答 できる限り対応する。

問 県外、国外大会への出場補助は。

答 学校行事の大会は教育総務課で、学校以外のスポルなどの大会は生涯教育課で対応。補助は助成基準により対応。



玉穂ふるさとふれあい広場管理事務所

厚生常任委員会

審査ポイント

学童保育補助金の実績減の理由は

▼平成25年度一般会計補正予算（第5号）
子育て支援課

問 欠員となっている田富第3保育園の保育士の状況は。

答 ハローワークを通じて募集しているが、応募がない。

問 保育士の欠員のほか、年度末に退職する保育士にかかる補充は。

答 年度途中の補充は難しく、新年度で対応見込み。

問 学童保育補助金の、実績減の理由は。

答 定員をもとに見込んだが、3施設で補助基準より下がったため。

問 補助基準が下がったのは、利用者の減少によるものか。

答 1日当たりの平均利用人数をもとに交付される。本年度の1日当たり平均利用人数を見込んだ結果減であった。

健康推進課

問 子宮頸がんワクチン接種の来年度見込みは。

答 予防接種審議会で、来年



学童保育の様子

度もワクチン接種は積極的勧奨はしないことを踏まえ減少が予測される。

問 予算不足などで、人間ドックの申し込みから漏れるケースは。

答 期日内の申込者はすべて受診。申し込み後、申込者の都合で未受診のケースはある。

問 成人風疹ワクチン接種助成事業は、来年度も継続するのか。助成件数が少ない実態は。

答 医療機関で接種前に抗体検査を行うため、受診者の実態は把握できない。助成は単年事業で継続しないが、国では抗体検査費用の補助対象を検討している。

産業土木常任委員会

審査ポイント

道路橋梁新設改良費で施工中止の理由と来年度の施工予定は

▼平成25年度一般会計補正予算（第5号）
建設課

問 道路橋梁新設改良費で、

施工中止になった理由は。また、来年度の施工予定は。

答 施工箇所は中央道側道の市道3051号線。隣接地の生コン工場建設で大型車両等の出入りが多く、建設反対の方々から同意が得られないため中止。来年度での施工は考えていない。

農政課

問 スーパーの事業内容は。

答 認定農業者に対して資金を貸し付け、その利子を県と市が負担する事業。

商工観光課

問 観光振興計画策定金額と内容は。

答 委託費300万円を計上。計画内容は第1期が24年度で終了し、集客目標や観光施設の紹介などが主な内容。第2期は策定中。

答 市民や専門家意見を取り

お客様アンケート箱（シルクふれんどりい）



入れるため、業務委託から自主策定に変更。印刷製本は業者委託。

問 県外在住者から市に対する意見を聴取し、計画に反映させる必要があるのでは。

答 現在、県外観光客が多い「シルクふれんどりい」でアンケートを実施。そのアンケートを計画に反映する。

問 県外在住の本市出身者を活用し、どのように意見を聴取するか、その手法の検討を。

答 ふるさと納税者の意見や「シルクふれんどりい」に訪れる県外者の意見を反映していく。

予算特別委員会

平成26年度一般会計予算

危機管理室

問 被害者支援対策費の事業内容は。また、東日本大震災の被災者支援との関連は。

答 被害者支援センター山梨に対し、本市負担金を支払う内容。被害者支援センター山梨は、犯罪被害を受けた人の支援に設立した組織で、東日本大震災の被災者支援を目的としていない。

問 消防団サポート事業の減額理由。平成25年度の実績は。

答 新たな加盟店に伴う書類等の修正にかかる予算で事業の縮小ではない。25年度の消防団員自動車免許取得補助金で1人がオートマティックの限定を解除し、2人が自動二輪免許を取得した。

環境課

問 塵芥し尿処理費の減額内容は。

答 前年度は青木が原ごみ処理組合脱退で、豊富地区のごみ積込施設建設費1,500万円と、設計委託料等も計上されていた。今年度は一部委託料が増えたが、全体として501万5千円の減となった。



消防団員サポート店募集のチラシ

税務課

問 法人税の増収を見込んで、高部工業用地の企業誘致や、国母工業団地への入居計画などを反映したものか。

答 高部工業用地の入居は考慮していない。国母工業団地入居予定企業も、現在ある企業が閉鎖し、そのあと建物の一部改修や耐震補強で使うことは新聞等で聞いている。事前に清算に伴う税相談等も受け話も伺っている。改築すると評価も変わるが、基本的に現状の建物等を使うので、固定資産税は変わらない。法人税収入は加味していない。

福祉課

問 生活困窮者支援対策事業の、25年度就労支援実績は。

答 昨年4月から専門員を配置し就労を支援。3月現在で48人を支援し、35人が職に就いた。今後も対象者増の予測だが引き続き支援する。

建設課

問 地籍調査を早める考えは。道路用地の未登記箇所があるが、調査を前倒しする考えは。

答 今年度は宇坪川の改修を優先し、新町第1、第2をメ



改修が進んでいる東花輪川

問 農政課
東花輪川改修で、東花輪地区の終了年度は。臼井排水路の改修終了予定年度は。

答 東花輪川改修は27年度の改修予定。臼井排水路は26年度から事業を実施、その後5年間の継続事業の計画。

予算特別委員会

教育総務課

問 社会科副読本改定の具体的内容は。すべて電子ブックで作成するのか。

答 旧3町村毎に作成していたが、この改定で1冊にする内容は旧3町村の特色をまとめたもの。児童に配布する副読本は紙ベースで作成、電子ブックは電子黒板を使用して説明する授業用として作成する。



編集中の社会科副読本

▼平成26年度国民健康保険特別会計予算

問 特定健康診査の受診者見込み総人数は。目標数値は。

答 集団検診は1、322人、人間ドックは1、564人の見込み。特定健康審査の目標は24年度が44・9%、ここ数年2%ほど上がっている。本年度は47%が目標。

▼平成26年度介護保険特別会計予算

問 特別養護老人ホーム待機者の状況は。また、市内の1施設が閉鎖になった影響は。

答 閉鎖施設は地域密着型施設で、利用者は市とケアマネで支障がないよう対応した。地域密着型施設が一つ閉鎖され、その分給付費は減っている。反面、在宅サービスは増加。特に大きな混乱はない。特別養護老人ホーム待機者は、3ケタの待機者がいると聞いている。

委員会の取り組み

現地視察報告

◆総務教育常任委員会

2月14日からの大雪で中央市をはじめ山梨県各地において大きな被害をもたらしました。120年ぶり、114cmの積雪を記録し、特に農業施設等は甚大な被害を受けました。

そんな中、当委員会は市内の小・中学校の被害状況の報告を受け、まずは児童・生徒が無事であることを確認しました。また、学校側は安全のため、2日間の休校、3日間は登校時間を遅らせる措置をとりました。

小中学校の大雪による被害は、8校中7校がなんらかの被害を受けました。3月10日の予算特別委員会の後、全委員会合同による現地視察を実施し、その中で田富小学校の体育館の被害状況を確認。体育館東側入り口ひさし全体（19平方メートル）が、雪の重み等により下に曲がっており、出



大雪により被害を受けた体育館の日差し（田富小）

入りができない状況にありました。

ほかには田富地区の小中学校で、雨どい損壊、駐輪場の一部損壊、玉穂地区では体育館渡り廊下屋根破損、豊富地区ではプール日よけが2カ所倒壊などの被害があり、合計11カ所の被害が報告されました。今後、可能な限り雪害の減災対策が必要と考えます。

現地視察報告

◆厚生常任委員会

ごみ処理最終 処分場を変更

青木ヶ原ごみ処理組合から本市が脱退することに伴い、最終処分場の搬出先、埼玉県・オリックス資源循環㈱への一時的な積み替え施設を視察した。設置期間は平成26年～28年とし、計画所在地、関原字浜井場で、アームローラー車のコンテナを設置し、パッカー車からごみを積み替える方法である。

同時に、田富第一保育園大規模改修工事を視察した。竣工昭和53年、築35年経過したため、老朽化施設の改修である。工事内容は屋上防水全面改修、外壁塗装全面改修、内部間仕切り改修などであり、平成26年7月31日に終わる予定で、工事は順調に進行していた。



田富第1保育園大規模改修



ごみ積み替え施設(関原地区)

現地視察報告

◆産業土木常任委員会

大雪に伴う 被災状況現地視察

2月8日の記録的な大雪に続き、14日から15日にかけての観測史上最多を記録するという積雪量114センチの大雪に見舞われ、市民生活に大きな影響を受けました。

今回の雪害で大きな被害に遭われた皆さまに心よりお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

産業土木常任委員会では、大量の積雪により、本市の主力産業である農業にも甚大な被害が発生しているとの情報をもとに、2月21日に倒壊したビニールハウス等の現地調査を行いました。あまりにも被害が大きく深刻な状況であり、被災農家は、その惨状に不術もなく傍観している状況でありました。このような状況から、市単独での支援は困難であり、委員全員が議会とし

ても対応すべきだとの意見から、急ぎよ2月25日から始まる3月定例議会開会日に、国・県に対し豪雪災害に対する迅速な対応支援および財政措置を求める意見書を提出する運びとなり採択されました。一日も早い復興により、産地としての維持存続と更なる伸展に期待するところであります。



被害にあわれた農家の方から状況を聞く(鍛冶新居地区)

新 議 員 紹 介

平成26年3月23日に行われた中央市議会議員補欠選挙で、3人の新議員が選ばれました。



斉藤 雅浩 議員
(産業土木常任委員会)



金丸 俊明 議員
(総務教育常任委員会)



宮川 弘也 議員
(厚生常任委員会)

平成26年6月定例会の予定

6月議会は、次のとおりの予定となります。お気軽に傍聴においでください。

10日(火) 午前10時 開 会
12日(木) 午前10時 一般質問
13日(金) 午前10時 一般質問
16日(月) 午前9時30分 総務教育常任委員会

17日(火) 午前9時30分 厚生常任委員会
18日(水) 午前9時30分 産業土木常任委員会
20日(金) 午前10時 閉 会

日程等は定例会前の議会運営委員会で決定されます。変更される場合がありますのでご了承ください。

議 会 の 動 き

1月

5日 消防団出初式
6日 役職員新年互礼会
12日 成人式
14日 議会広報編集委員会
23日 議会運営委員会
24日 リニア活用推進懇話会
31日 議会広報編集委員会、水道審議会

2月

3日 リニア中央新幹線甲府駅西部沿線地域活性化対策協議会
5日 一般質問通告調整会議
7日 2市1町正副議長・事務局会議
13日 山梨県市議会議長会議員合同研修会(後期)
13日 リニア活用策検討部会
18日 議会運営委員会
20日 民生委員推薦会
21日 健康づくり推進協議会、後期高齢者医療広域連合会定例会

22日 議会改革先進地視察研修
23日 議会改革先進地視察研修
25日 第1回定例会開会

3月

12日 市立中学校卒業式、第1回定例会閉会
13日 3大まつり実行委員会
19日 消防団車両貸与式
20日 市立小学校卒業式、西日向外三山恩賜県有財産保護組合議会定例会、大畠山外七字恩賜県有財産保護組合議会定例会
25日 リニア活用推進懇話会、甲府地区広域行政事務組合議会定例会
26日 東八代広域事務組合議会定例会、景観計画策定委員会
27日 市立保育園卒園式、三郡衛生組合第1回定例会
28日 中巨摩広域組合議会3月定例会

市民の談話室



西花輪第2

中村 義弘

のんびり田舎の年金生活

昭和49年に転勤で来たこの地に、終の棲家（つのすみか）にしようと家を建てたが、翌年には東京へ転勤となり、仕事を終えた60歳の時に戻ってきた。

地元の人たちとの交流がほとんどできていなかったの、早く溶け込みたいと考え、囲碁・絵画・ゴルフ・社交ダンス等のサークル活動に参加し、今も楽しんでいる。

庭の一角に作った約十坪ほどの菜園で野菜を育て、カキ・ミカン・キウイ等を収穫し、庭木と四季折々の草花の手入れ、今年は大雪で大変でしたが、今は庭で山茶花・梅・福寿草・クロッカス・リュウキンカ・水仙が咲いている。

朝は花や菜園を見ながらコーヒーを飲むのを日課とし、自分で作った野菜や、庭でもいだ果物を食し、サークル活動で一緒に仲間と語らう。まわりのゴルフ場は近くて安い。都会ではできない、のんびりと年寄りの年金生活だ。

これからも田舎の良さを満喫し、健康で長生きを心がけ、周りの人に助けられたり助けたり、生きていきたいと思う。



上成島

伊藤 弥生

私の人生のオアシス 素敵な仲間と職場

中央市に住んで25年。3人の子どもたちも成長し社会へ送り出す事ができました。近ごろではほっとしたような、気が抜けてしまったような、無気力感を感じながらの日々でした。

そんな時、縁あって障がい者支援の仕事の話があり、以前からやりたい仕事だったので喜んで働かせていただく事になりました。未経験のフルタイム。出勤までの忙しい家事仕事など、生活が一変しました。

しかし、毎日障がい者の人たちとパンやクッキー作りをしながら泣いたり、笑ったり、とても心地よく楽しい日々を過ごしています。そして、これまでの私の人生に、優しさという綺麗な色のページを付け加えられたら、と思っています。

施設の人たちはとても心がきれいで仲が良く、市の花である「れんげ草」のようです。一輪では頼りなく目立たないけれど、たくさん集まればやすらぎと優しさを与えてくれる。そんな職場で働ける事に感謝しながら、明日からも頑張りたいと思います。

編集後記

今議会は2回にわたる大雪による被災状況が把握できない中で開催されました。

特に今回の大雪は本市の特産品であるトマトやトウモロコシなどをビニールハウス栽培している農家や、カーポートの倒壊による被害が甚大であり、被災された市民の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

今回の雪害は県下全般にわたり災害慣れしていないせいか、初動体制の遅れが目につきました。

議員として最も大切なことは、議会が行政のチェック機能を強く意識することです。収入財源が年々厳しさを増す中、いかに無駄をなくし、本市の将来

を担う児童生徒の教育環境を含む子育て支援や、高齢者や障がい者世帯への負担軽減に尽くすべきであり、そのためには自分自身が身を律し、「天知る・地知る・自分知る」を念頭におき、市民の皆様に正確な情報が伝わるよう編集に携わりました。

[小池 満男]

議会広報
編集委員会

委員長	田中 輝美
副委員長	木下 友貴
委員	河西 茂 名執 義高
	小池 満男 福田 清美